



2023年5月12日

各 位

会 社 名 三洋化成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 樋口 章憲
(コード番号 4471 東証プライム)
問合せ先 広報部長 児玉 陽一
(TEL. 075-541-4312)

新中期経営計画2025 - ありたい姿に向けた変革の加速 -

当社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：樋口章憲）は、2023年5月12日開催の取締役会において、当社グループのさらなる持続的成長に向けて、「新中期経営計画2025」を決議いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2030年のありたい姿に向けた羅針盤として2022年3月に経営方針「WakuWaku Explosion 2030」を策定し、持続可能な社会を築き上げるために「カーボンニュートラル(CN)への貢献」「QOL(生活の質)の向上」「働きがいの向上」の3つの柱を掲げ、ワクワクする会社に向けた活動を始動しました。しかしながら、経営方針の初年度である2022年度の業績は、外部環境の変化等により期初計画未達となり、経営方針で掲げた2024年度の営業利益200億円のマイルストーンとの乖離が発生しております。また、経営方針に基づき始動した「ありたい姿に向けた変革」についても想定より遅れを呈しているという現状認識があります。これらの状況を踏まえ、2025年までの収益改善に向けた具体的な施策と、経営方針で描いたありたい姿の実現に向けた持続的な成長の道筋を明示するため、改めて「新中期経営計画2025」を策定し、グループ一丸でサプライチェーン全体の価値向上に取り組むとともに、化学のちからで化学の枠を越えてイノベーションを起こし、新たな価値創造を加速させてまいります。

1. 新中期経営計画2025の基本方針

(1) 事業戦略（2023～2025年度）

①基盤事業からの展開

カーボンニュートラル（CN）およびQOL（生活の質）の向上に貢献する注力5製品群を「高付加価値製品群」として位置付け、本製品群への研究開発および設備投資を加速し、収益獲得を図ります。

②基盤事業の見直し

サプライチェーン全体の改革やウレタン事業と高吸水性樹脂（SAP）事業の構造改革を実行し、収益改善を図ります。

③グローバル展開

海外関係会社での生産設備増強や販売機能強化による拡販を図ります。

(2) 将来に向けて

①新たな成長軌道

CN/QOLの向上に貢献する新規事業・製品開発に注力します。継続的なリソース投入、戦略的なアライアンス・M&Aを視野に入れたイノベーション創出のアクションを強化します。

②社会課題の解決

CCU(*)の導入により将来の大幅なCO₂削減を目指します。また、サプライチェーン上で想定される人権問題について積極的に対応していきます。

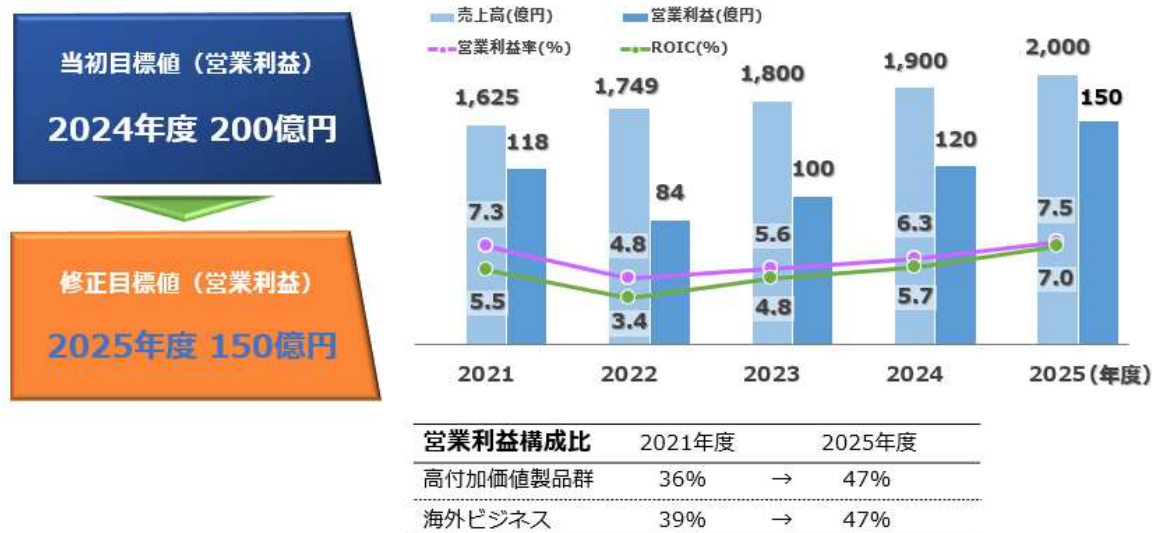
(*)Carbon dioxide Capture and Utilization（二酸化炭素の回収・有効利用）

③成長を支える仕組み

人財育成と職場環境の向上に向けた取り組みを進めます。また、安全と品質を最重点に置いてマネジメントし、透明性のある経営を推進します。

2. 業績見通しの修正

外部環境と社内改革の進捗を鑑みて、経営方針で掲げた「2024年度営業利益200億円」の目標を「2025年度営業利益150億円」へ修正しますが、経営方針のありたい姿を堅持し、新中期経営計画2025にて着実に成長戦略を遂行します。



なお本資料に記載の将来に関わる一切の内容は、発表時現在において入手可能な情報に基づき推計したものであり、様々な要因により、実際の施策、業績と異なる可能性があります。

以 上